

天皇盃 皇后盃
第50回全日本空手道選手権大会
大会実施要項
＜公益財団法人 全日本空手道連盟＞



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

コロナ感染症対策のため、実施要項が変更になる場合は随時ご連絡いたします

1. 名 称 天皇盃 皇后盃 第50回全日本空手道選手権大会（個人戦）
2. 主 催 公益財団法人 全日本空手道連盟
3. 後 援 スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会、（公財）日本オリンピック委員会、（公財）日本武道館、日本武道協議会、NHK、読売新聞社、報知新聞社、（公財）ブルー・アット・グリーンランド財団、（公財）笹川スポーツ財団、空手道マガジン月刊 JkFan
4. 日時・場所
男子及び女子組手・形個人戦
日 時 令和4年12月11日（日）9時00分～17時00分
場 所 日本武道館（東京都千代田区北の丸公園2-3）
式 典 14時30分から（予定）
5. 競技種目
（1）男子・女子組手競技個人戦
各都道府県並びに競技団体より選出された代表選手による組手競技
（2）男子・女子形競技個人戦
各地区協議会並びに各競技団体より選出された代表選手による形競技
6. 競技規定（公財）全日本空手道連盟空手競技規定で行う。
（1）男子・女子組手競技個人戦
ア. トーナメント方式による。
イ. 3位決定戦は行わない。
ウ. 敗者復活戦は行わない。
エ. 準決勝戦・決勝戦はビデオレビュー（VR）システムを採用する。なお、VRの手続きについてはWKF組手競技におけるビデオレビュー規定を適用する。
（2）男子・女子形競技個人戦
ア. 以下の手順によって行われる。
①16名の競技者は2つのグループに分けられる。
②各競技者は、予選ラウンドで2つの形を演武する。
③予選ラウンドで演武した2つの形の平均点が計算される。
④平均点が同点の場合、以下の手順で順位を決定する。

- 1) 2回目の形の合計得点の高い方の選手
 - 2) 2回目の形の技術面の得点が高い方の選手
 - 3) 2回目の形の競技面の得点が高い方の選手
 - 4) 1回目の形の合計得点の高い方の選手
 - 5) 1回目の形の技術面の得点が高い方の選手
 - 6) 1回目の形の競技面の得点が高い方の選手
 - 7) それでも同得点の場合、新たな形の演武を行い勝者を決定する
但し、ここで使用された形は、2度と使用できない
- ⑤ 2つのそれぞれのグループにおいて、上位4名の競技者は準決勝ラウンドに進出する。予選ラウンドの得点は無視される。
 - ⑥ 準決勝ラウンドにおいて、それぞれ2つのグループから選ばれた4名の競技者は、3回目の形を行い、新たに得点が与えられる。
 - ⑦ 2つのグループのそれぞれ1位の競技者が対戦し1位と2位の座を競う。
2位の競技者は他のグループの3位の競技者と対戦し3位の座を競う。
 - ⑧ 準決勝ラウンド以降同点の場合は、電子システムによる同点の解決ステップ15により勝者を決定する
- イ. 敗者復活戦は行わない。
 - ウ. 各ラウンドで異なる形を演武しなければならない。一度演武された形は、たとえ同点のときに使用された場合であっても繰り返し使用することはできない。
 - エ. 演武する形は、全て全空連指定形リスト及び得意形リストより選定すること。予選ラウンド1回目は第1指定形、2回目は第2指定形の中から選ばなければならない。準決勝ラウンド以降は得意形とする。
- (3) 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

7. チーム編成・出場人員

- (1) 個人組手競技選手
 - 各都道府県、実業団、学生連盟、高体連よりそれぞれ男子代表1名、女子代表1名とする。但し、下記のとおり追加選出できる。
 - ア. 男子出場選手
 - 東京都1名、大阪府1名、学生連盟1名及び前年度優勝選手
 - イ. 女子出場選手
 - 東京都1名、大阪府1名、学生連盟1名及び前年度優勝選手
 - ウ. 上記以外に、全空連は若干名の選手を推薦することができる。
- (2) 個人形競技選手
 - ア. 各地区協議会より男子及び女子代表選手各1名
 - イ. 実業団、学生連盟及び高体連よりそれぞれ男子及び女子代表選手各1名
 - ウ. 前年度優勝の男子及び女子選手各1名
 - エ. 上記以外に、全空連は若干名の選手を推薦することができる。
- (3) 監督
 - 組手競技、形競技各1名とする。
 - 両競技の監督を兼任することができる。
 - 前年度優勝選手の監督を別に設けることができる。

8. 出場資格

- (1) 選手及び監督は、(公財)全日本空手道連盟会員であり、「JKF 会員マイページ」に登録していること。マイページが未登録では出場申込 (web 申請) が出来ません。

- (2) 選手及び監督は、全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
- ア. 日本国籍を有する者
 - イ. 日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済証明書、又は3年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (3) 選手及び監督は、次に掲げるア. 都道府県連盟、イ. 競技団体、及びウ. 地区協議会からそれぞれ選出された者とする。
- ア. 都道府県連盟 (①～④のいずれかによって所属していること)
 - ①居住地 ②勤務地 ③学校教育法第1条に規定する学校の所在地
 - ④卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地
 - イ. 競技団体
 - ①実業団 ②学生連盟 ③高体連
 - ウ. 地区協議会(但し、形競技のみ)
- (4) 選手は、令和4年度内に満16歳の誕生日を迎え、全空連公認段位取得者であること。
- (5) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
- (6) 監督は、①全空連公認地区審判員以上の審判員資格と、②公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ3以上の資格の両方(①及び②)の有資格者であること。

※選手及び監督の所属を証明する書類(住民票又は在学・在勤証明書)並びに選手の健康状態を証明する書類(健康診断書又は健康診断証明書)については、当該団体会長(又は議長)が確認し、内容に相違ない事を証することとする(全空連に提出不要)。

9. 出場申込手続き

【大会申込担当者】

- (1) 個人・団体の監督と選手を併せてWEB申込を行うこと。
- ・WEB申込の操作マニュアルを参照(大会申込担当用、参加者用)
 - ・出場費支払い方法: クレジットカード又はコンビニ決済(個人団体合算)
- 申込期間: 令和4年10月7日(金)～24日(月) 23:59

【出場選手】

選手は次の①②③について、指定のフォームから回答を行うこと。

- ①誓約書
- ②出場承諾書(高校生のみ保護者が入力)
- ③顔写真(以下の要件を満たすものとする)
 - ア. 空手道着を着用して撮影すること。(Tシャツの色は白)
 - イ. 白の無地の背景で正面から撮影すること。
 - ウ. カラー写真であること
 - エ. 写真の70～80%が顔で占めること。自然な表情で口は閉じること。
 - オ. 髪は目にかからないようにすること。
 - カ. デジタル加工は一切加えないこと。

※フォームはWEB申込を確認後、各団体事務局に通知する。

回答期限: 令和4年10月28日(金) 23:59

その他の留意事項

- ア. 規定の資格条件を充たしていないとき、提出データ内容に不備不足があるとき又は申込期限に遅れた場合には出場を認めない。
- イ. 出場申込書提出後の選手の変更は、提出期限内であっても一切認めない。

- ウ. 出場申込書提出後やむを得ず選手が試合に出られない事態が生じた場合は、所定様式「棄権届」に必要事項を入力し、令和4年12月8日（木）17：00までにデータをメールで送信すること。
上記以降での棄権が決定した場合は、大会当日8：30までにアリーナ本部席に届け出ること。

10. 大会出場費及び大会分担金

(1) 大会出場費

選手1名につき 10,000円

コンビニ決済またはクレジットカード決済で10月28日（金）23：59までに納入ください。

(2) 大会分担金

ア. 各道府県（関東地区の都県を除く） 20,000円

イ. 関東地区の都県は次のとおり

東京都60万円

神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨は各20万円

ウ. 各団体

学生連盟30万円、実業団・高体連は各20万円

エ. 大会分担金の納入について

下記の銀行口座に

11月7日（月）までにお振込みくださいますようお願いいたします。

銀行名	みずほ銀行
支店名	虎ノ門支店（046）
口座	普通 2618506
名義	公益財団法人全日本空手道連盟

- (3) 納入後の出場料は、出場辞退があった場合でも返金しない。

11. 旅費等の負担について

- (1) 交通費・宿泊費とも自己負担とする。宿泊先については、各自手配すること。
(2) 監督・選手には昼食（弁当）を支給する。その他の食事は自弁とする。

12. 組合せ抽選日時・場所

- (1) 抽選日 令和4年11月11日（金）
(2) 抽選場所 日本空手道会館 会議室

13. 負傷処置

- (1) 大会期間中の傷害保険は、主催者側が参加選手全員に主催者負担で加入手続きをする。
(2) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者においては応急処置を行なうが、その後は、自己の負担・責任で治療すること。
(3) 選手は本大会には必ず健康保険証を携行すること。

14. 審判・監督・選手の服装等

- (1) 審判員
 - ア. 全空連競技規定の服装による。
 - イ. マスク
- (2) 監督
 - ア. 全空連制定のブレザー、ネクタイ、ズボン、シューズを着用すること。
 - イ. 監督用IDカードを下げること。
 - ウ. アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身につけないこと。
 - エ. 監督は、いかなる場合もコート内に入ることはできない。
 - オ. マスク着用
- (3) 選手
 - ア. 選手の空手衣は、(公財)全日本空手道連盟競技規定に定めたものとする。
 - イ. 青・赤帯は各自全空連検定済(マーク入り)のものを用意すること。
 - ウ. マスクは競技中以外は常時着用のこと。
 - エ. 選手用IDカードを下げること。

※マスクは白・無地・不織布

15. 安全具について

- (1) 男子組手競技に使用する安全具
 - ア. 拳サポーター (WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
 - イ. マウスピース
 - ウ. セーフティカップ
 - エ. ボディプロテクター (WKF又は全空連検定のもの)
 - オ. インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
- (2) 女子組手競技に使用する安全具
 - ア. 拳サポーター (WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
 - イ. マウスピース
 - ウ. チェストガード
 - エ. ボディプロテクター (WKF又は全空連検定のもの)
 - オ. インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
- (3) その他
 - ア. 安全具は選手各自が用意すること (本連盟では準備しない)

16. コロナ対策

- ・後日、通知する。(検温記録、抗原検査、他)

17. 表彰

- (1) 男子及び女子組手競技個人戦
 - 優勝(天皇盃、皇后盃)、準優勝、第3位(2名)、第5位(4名)
- (2) 男子及び女子形競技個人戦
 - 優勝(文部科学大臣杯・文部科学大臣旗)、準優勝、第3位(2名)、第5位(2名)、第7位(2名)
- (3) その他
 - 入賞選手は必ず表彰式に参加すること。(マスク着用)

18. 監督会議

オンライン会議

令和4年12月6日（火）19:00～

19. 進行予定

令和4年12月11日（日）日本武道館

8時00分～ 開場

9時00分～ 競技開始（後日スケジュールをご案内します。）

14時30分～ 式典

17時00分～ 表彰式

【LIVE 放映予定】

令和4年12月11日（日）NHK Eテレ 15:30～17:00（予定）

20. ゼッケンについて

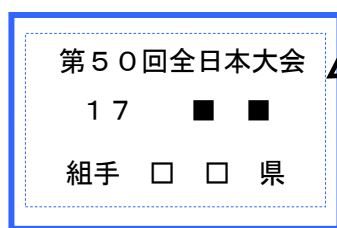
(1) ゼッケンは大会本部で作成し、11月下旬に所属団体へ発送する。

※大会1週間前に未着の場合は必ず全空連に問い合わせること。

(2) 所属団体は、ゼッケンの到着後必ずそれぞれの番号、姓名、都道府県名等を確認し、誤記のないことを確認した上で出場選手に速やかに配布すること。

(3) ゼッケンを正しく付けていない選手は出場することができない。マジックテープ等での仮止めは不可とし、確実に縫い付けて参加すること。また、競技中にとれた場合は次の試合までに必ず再度縫い付けなければ出場できない。

▼ゼッケンは四辺を縫い付けて道衣から外れないようにすること。



*必ず縫い付ける。(ゼッケンがないと失格)

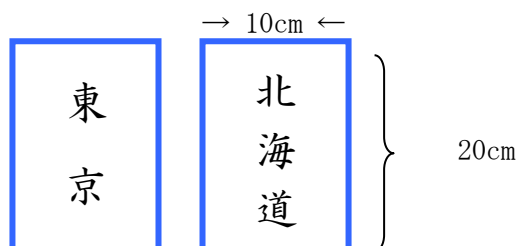
21. 胸マークについて

(1) 選手の胸マークは、各都道府県名（個人戦において競技団体より選出された選手は競技団体名）を表記した下記規格のものを左胸に固く縫着する。所属の会社、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等を表記することは認めない。

①サイズは、縦20cm×横10cm以内とする。

②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。

[▼例]



22. 両腕部マークについて

(1) 右腕

1. 選手は協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着できる。縦3 cm×横10 cmとし、競技規定に定められた範囲内に最大4件まで表示可能とする。
2. 本大会において、風俗営業関連、暴力団関係企業・団体等を協賛として露出することは認めない。
3. 協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着する場合、事前に全空連から承認を受けること（全空連では前項に該当がないか確認する）。

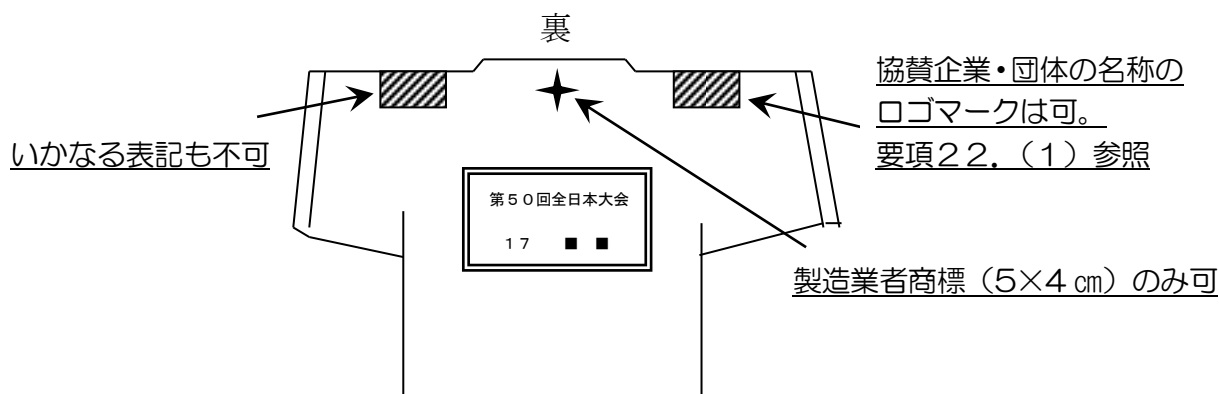
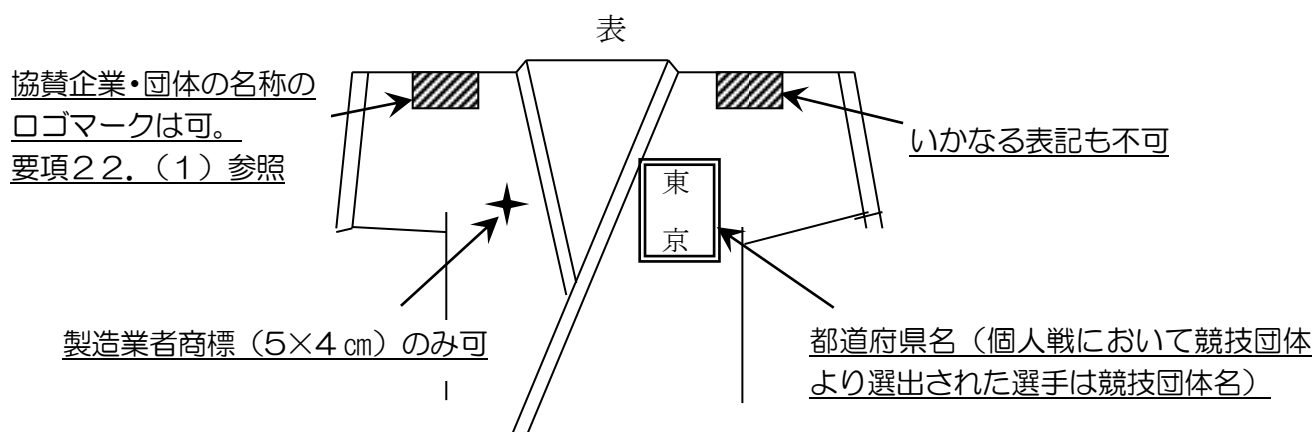
(2) 左腕

左腕部マークについては、所属の会社、企業名、都道府県名、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等いかなる表記も認めない。

23. 空手着の製造業者商標のラベル表記について

製造業者がはじめから付けたラベルだけは上衣の裾表側、ズボンの表側（左右どちらか）、右胸、襟裏のみ可とし、それ以外のワッペン・刺繍等は一切認めない。

※各流派のオリジナルラベルは認める。



24. 肖像権について

本大会は、大会の様相をインターネットのライブ配信を予定している。観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟が認めたライブ配信業者等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記(1)(2)の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

25. ドーピング検査について

本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会参加者は、本大会に出場申込した時点で日本ドーピング防止規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本大会出場者の申込においては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

【18歳未満競技者親権者 同意書 を記載して当日持参すること。※全空連に事前の提出は不要。】

本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

以 上